

産地活性化総合対策事業(平成27-29年度国産花きイノベーション推進事業)に関する事業評価票(再々々評価)

都道府県名	事業実施主体名	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容	基準値	目標値	達成状況		具体的な取組内容	事業内容 (検討会構成員、実施回数、実証試験の内容等)	地方農政局長等の意見
						目標年(R6)	達成度合			
青森県	青森県花のくまにづくり推進協議会	平成27-29年度	青森県産花き生産額の増加	1,917百万円	3,000百万円	956百万円	-89%	・生産供給体制の強化	・夏秋期の安定生産に向けた研修会やセミナーの開催 ・赤色LED電照処理による開花抑制効果及び切り花品質向上効果実証	赤色LED電照処理による開花抑制効果及び切り花品質向上効果実証を通じて生産供給体制の強化を図り、また、県産花きの生産面での課題であった夏秋期生産の強化に取り組むなど、成果目標の達成に寄与する取り組みを行ってきたものの、成果目標の達成には至らなかった。 このため改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
		平成27-29年度	青森市における1世帯当たり(二人以上の世帯)年間の花き(切り花+園芸用植物)支出金額の増加	13,010円	14,000円	10,188円	-285%	・需要拡大の取組	・若年層及び社会人を対象とした花育体験実施 ・花き需要拡大のためのプロモーション活動、園芸体験実施	花育体験・園芸体験等の実施や県産花きのプロモーション活動を通して需要拡大を図り、また、県産花きの生産面での課題であった夏秋期生産の強化に取り組むなど、成果目標の達成に寄与する取り組みを行ってきたものの、成果目標の達成には至らなかった。 このため改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
		平成27-29年度	園芸福祉体験を「今後取り組みたい」という福祉施設数を4施設	3施設	4施設	0施設	-300%	・需要拡大の取組	・学校・福祉施設等での花育体験実施 ・花き需要拡大のためのプロモーション活動、園芸体験実施	花育体験・園芸体験等の実施や県産花きのプロモーション活動を通して需要拡大を図り、成果目標の達成に寄与する取り組みを行ってきた。一方、当成果目標の達成のため、市場等関係機関からの働きかけにより、福祉施設への園芸福祉体験の実施を打診したものの、感染症対策の観点から要望が無かったことにより実施はかなわなかった。 このため改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
宮城県	宮城県花と緑普及促進協議会	平成27-29年度	宮城県産花きの生産数量の増加	45,969千本・千鉢	48,267千本・千鉢	29,389千本・千鉢	-721%	・花きの生産性向上・流通の効率化等の取組 ・花きの消費拡大・利用定着の取組	・きく類への低コスト生産技術(EOD-heating)の導入実証 ・ひまわりの小型化栽培技術確立のための栽培試験	きく類への低コスト生産技術(EOD-heating)の導入や小輪ひまわりの栽培マニュアルを作成・配布など、成果目標の達成に寄与する取り組みを行ってきたものの、成果目標の達成には至らなかった。 このため改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
		平成27-29年度	宮城県産花きの産出額の増加	3,109,223千円	3,420,146千円	2,495,165千円	-197%	・花きの生産性向上・流通の効率化等の取組 ・花きの消費拡大・利用定着の取組	・新たな販路開拓、需要拡大に向けた技術実証 ・生産者と実需者の連携促進、消費者等への普及促進 ・花きの利用促進のための花育体験、園芸体験	花育体験・園芸体験等の実施やオンラインフラワー講座の開催や県産花きのプロモーション活動を通して需要拡大を図った。また、環境配慮型の取組みでは、輸送エネルギーの低減を目的とした地産地消の取組を推進することで、県産花きの需要が拡大し、産出額向上に取り組むなど、成果目標の達成に寄与する取り組みを行ってきたものの、成果目標の達成には至らなかった。 このため改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
		平成27-29年度	仙台市中央卸売市場における花き取扱金額の増加	9,491,582千円	9,776,330千円	8,394,891千円	-385%	・花きの生産性向上・流通の効率化等の取組 ・花きの消費拡大・利用定着の取組	・新たな販路開拓、需要拡大に向けた技術実証 ・生産者と実需者の連携促進、消費者等への普及促進 ・花きの利用促進のための花育体験、園芸体験	花育体験・園芸体験等の実施やオンラインフラワー講座の開催や県産花きのプロモーション活動を通して需要拡大を図った。また、環境配慮型の取組みでは、輸送エネルギーの低減を目的とした地産地消の取組を推進することで、県産花きの需要が拡大し、産出額向上に取り組むなど、成果目標の達成に寄与する取り組みを行ってきたものの、成果目標の達成には至らなかった。 このため改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。

都道府 県名	事業実施主体名	事業実 施 初年度	成果目標の 具体的な内容	基準値	目標値	達成状況		具体的な取組内容	事業内容 (検討会構成員、実施回数、実証試験の内容等)	地方農政局長等の意見
						目標年 (R6)	達成度合			
山形県	山形県花き生産連絡協議会	平成27- 29年度	山形県産花きの産出額の増加	68億円	75億円	70億円	29%	・花きの消費拡大・利用定着の取組 ・花きの生産性向上・流通の効率化等の取組	・花き関係者の連携への支援や生産技術向上支援 ・国内外の需要に対応した生産・供給体制の検討 ・物流の効率化の検討・実証 ・花き品評会・展示会の開催、花育体験の実施	取組により生産技術向上による県産花きの安定供給及び品質向上、展示会や花育により興味関心が高まり、家庭での購入機会の増加等に結びつき、成果目標の達成に寄与する取り組みを行ってきたものの、成果目標の達成には至らなかった。 このため改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
		平成27- 29年度	山形生花地方卸売市場取扱数量の増加	22,000千本	24,200千本	14,298千本	-350%	・花きの消費拡大 ・利用定着の取組	・フラワーフェスティバル、品評会・展示会の開催 ・学校・福祉施設等での花育体験推進	特定の品目に着目した品評会や展示会の開催、花育体験・園芸体験等の実施や県産花きのプロモーション活動を通して需要拡大を図り、成果目標の達成に寄与する取り組みを行ってきたものの、成果目標の達成には至らなかった。 このため改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
		平成27- 29年度	山形市における1世帯当たり(二人以上の世帯)年間の切花支出金額の増加	11,865円	12,500円	10,870円	-157%	・花きの消費拡大 ・利用定着の取組	・フラワーフェスティバル、品評会・展示会の開催 ・学校・福祉施設等での花育体験推進	特定の品目に着目した品評会や展示会の開催、花育体験・園芸体験等の実施や県産花きのプロモーション活動を通して需要拡大を図り、成果目標の達成に寄与する取り組みを行ってきたものの、成果目標の達成には至らなかった。 このため改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
		平成27- 29年度	花育を体験した保護者の花き類の購入頻度の現状把握と体験後の購入頻度平均の増加1回以上	-	1回	1.3回	130%	・花きの消費拡大 ・利用定着の取組	・フラワーフェスティバル、品評会・展示会の開催 ・学校・福祉施設等での花育体験推進	成果目標は達成しており、事業の取組の成果が認められる。
福島県	福島県花き振興協議会	平成27- 29年度	福島県の花き主要品目(りんどう、宿根かすみそう、トルコギキョウ)の出荷数量の増加	12,768千本	13,151千本	12,089千本	-177%	・花きの消費拡大 ・利用定着の取組	・協議会の設置、運営 ・フラワーコンテスト、花文化展示会、シンポジウムの開催 ・学校・福祉施設等での花育体験推進	生産拡大のため、試験研究機関や市場担当者を講師としてセミナー等を開催し生産技術の向上を図ったことで、宿根かすみそうでは出荷量が増えたが、高齢化の影響による廃作が進むとともに、トルコギキョウでは土壌病害が多発したため出荷数量が減少し、成果目標の達成には至らなかった。 このため改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
		平成27- 29年度	福島市における1世帯当たり(二人以上の世帯)年間の切花支出金額の増加	18,063円	18,244円	15,786円	-1258%	・花きの消費拡大 ・利用定着の取組	・協議会の設置、運営 ・フラワーコンテスト、花文化展示会、シンポジウムの開催 ・学校・福祉施設等での花育体験推進・花き品評会・展示会の開催、花育体験の実施	各種品評会や花文化展示会を行い花き消費の拡大を図り、全国的にも支出金額は1世帯当たり8,034円から7,684円へ減少する中で、福島市の1世帯あたり年間の切花支出金額は全国一位となったものの、成果目標の達成には至らなかった。 このため改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
		平成27- 29年度	福島市における100世帯当たり(二人以上の世帯)の切花購入頻度増加	1,139回	1,150回	938回	-1827%	・花きの消費拡大 ・利用定着の取組	・協議会の設置、運営 ・フラワーコンテスト、花文化展示会、シンポジウムの開催 ・学校・福祉施設等での花育体験推進・花き品評会・展示会の開催、花育体験の実施	学校や福祉施設等での花育体験・園芸体験の実施を通して需要拡大を図り、成果目標の達成に寄与する取り組みを行ってきたものの、成果目標の達成には至らなかった。 このため改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。